

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ひとりひとりに届く危機対応ナビゲーターの構築

3. 研究開発課題名

確実に情報を伝える音声避難誘導システムの実現

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

赤木 正人(北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授)

5. 評価結果

非常時でも確実に情報を伝える音声避難誘導を目指す本研究開発は、危機対応ナビゲーターに組み込む情報提供手段の要素技術として魅力的な課題であると評価され採択された。

探索研究期間の進捗として、音環境フィードバックによる呈示音声適応制御、状況に応じたパラ言語情報適応付加などで顕著な成果を上げており、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

しかしながら本評価時点では、非常時に音声によって確実に誘導できるかなど、社会実装に向けた検討が不十分であり、まだ課題が残されていることから、探索研究で終了という評価となった。

以上